

重点支援地区選定一覧【2／22選定分】

※残りの20地区程度は3月および25年度初めのPTで地区選定を予定

中山間PT

No.	市町村名	地区名	分類	選定日（予定）	選定理由	次世代定住に向けた 達成目標	主要推進組織	特記事項
1	浜田市	美又	A 緊急性	平成25年2月22日	・カルテで緊急性が高い ・住民自治組織があり、地域課題 ・温泉と地域の農産品を活用した活性化に取り組む方針あり	温泉と地域の農産品を活用した交流と特産品づくり	・美又湯気の里づくり委員会	担当：三島、田中(徹)、安部、赤池、栗原
2	出雲市	窪田須佐	C お手本 D 自立	〃	・地域協議会でまちづくり計画策定 ・農業振興（6次産業化）と地域交通の課題に取り組む方針あり ・未来サポートさだ（株式会社設立予定）等の取り組みが進んでいる	農村維持と農業活性化（6次産業化推進）の仕組みづくり	・佐田地域協議会 ・フロンティアアグリネット研究会 ・営農組織 未来サポートさだ（株式会社設立予定）	担当：荒木、有田、吉田、今井
3	江津市	黒松	C お手本	〃	・住民自治組織がしっかりしており、モデル性が高い ・海産品を活用したコミュニティビジネス推進などの地区の方針あり	空き家対策（市と連携した移住への取組）海産品を活用したコミュニティビジネス推進	・黒松自治区推進協議会	担当：三島、田中(徹)、安部、中山、田中(麻)
4	雲南市	吉田	A 緊急性	〃	・カルテで緊急性が高い ・地域おこし協力隊が配置されている ・尾道松江線開通で活性化が期待される ・小学校分校廃校に伴い、廃校活用モデル地区として取り組む必要がある	廃校利活用等による交流と地域活性化の推進	・吉田地区振興協議会	担当：板垣、中山間C、PTメンバー
5	雲南市	塩田	A 緊急性	〃	・カルテで緊急性が高い ・地域おこし協力隊が配置されている ・小学校分校廃校に伴い、廃校活用モデル地区として取り組む必要がある	廃校利活用等による交流と地域活性化の推進	・塩田地区振興会	担当：板垣、川合、藤田、中山、杉原
6	飯南町	谷	B 潜在力	〃	・住民自治組織が設置されている ・自治会輸送、廃校活用の実績ありモデル性が高い	地区内でコミュニティビジネスを立ち上げ、雇用の場を創出	・谷自治振興会	担当：樋野、吉田、空閑、和田
7	美郷町	別府	C お手本	〃	・住民自治組織が設置されている ・地域おこし協力隊やUターン者の受け入れで実績がありモデル性が高い	NP0法人、農事組合法人の事業を推進し、Uターン者の受け皿づくりと魅力的なコミュニティづくりを推進	・別府地域連合自治会 ・NP0法人別府安心ネット ・農事組合法人小松地営農倶楽部	担当：福岡、内部、空閑、高田
8	津和野町	畑迫	A 緊急性	〃	・カルテで緊急性が高い ・住民自治組織が設置されている ・小学校廃校に伴い、地域の活性化に取り組む必要がある	地域での交流活動の推進による定住促進	・畑迫地域まちづくり委員会	担当：竹本、笠松、藤山、石倉、植田
9	津和野町	青原	C お手本	〃	・地域で高齢者の買い物支援や見守りに地域で取り組もうとする動きがありモデル性が高い	地域で取り組む高齢者の買い物や見守りの体制づくり	・青原地域まちづくり委員会	担当：竹本、笠松、、中山間C、PTメンバー

過疎（中山間）地域自立促進特別事業 申請状況等について

☆計画書の提出があった地区

No.	市町村名	地区名	分類	事業主体	事業内容	目標	事業期間及び事業費	特記事項	意見等	各課の関わり
1	美郷町	別府	C お手本	・別府地域連合自治会 ・NPO法人別府安心ネット ・農事組合法人小松地営農倶楽部	(連合自治会) ○石見銀山街道を主体とした里歩きコースの選定、ガイド養成、花街道づくり (NPO法人) ○過疎地有償運送（免許取得）、資源調査及び活用計画の策定、6次産業化を目指した生産連携及びネット販売 (農事組合法人) ○餅、酒、ソバ、椎茸を活用した交流事業	○平成27年国調人口をプラスに ○共存、共生、共助の絆を深め、定住者と来訪者が協力して「美しい花の里づくり」を進める。 ○6次産業化を通じて、生きがいづくりと地域の創造力を高める。 ○NPO法人、農事組合法人の事業を推進し、Uターン者の受け皿づくりと魅力的なコミュニティづくりを強力に推進	平成24年度 3,000千円 平成25年度 3,000千円 平成26年度 3,000千円	○美郷町は事業主体を一つに限定せず、町、地区、NPO等の協定に基づく事業スキームを構築し、スムーズな連携を図ることで事業を推進する。 ○本事業と連動する形で、平成25年度には6次産業センターの整備、平成26年度には若者定住住宅の整備を予定	○中山間地域の中では比較的若い世代が地域に定住している。また、今年4月にNPO法人を設立し、事業に意欲的に取り組もうとしている。 ○町、地区、NPO等が協定を結び、連携して事業に取り組む点はモデル性を有している。 ○過疎地有償運送という「守り」の取組だけではなく、6次産業化といった「攻め」の取り組みに着手する点も評価できる。	【交通】過疎地有償運送（免許取得） 【農業経営、農畜産、ブランド】6次産業化を目指した生産連携及びネット販売 【農業経営、農畜産】餅、酒、ソバ、椎茸を活用した交流事業
2	江津市	黒松	C お手本	・黒松自治区推進協議会	○空き家対策（市と連携した移住への取組） ○黒松海岸の一面で浜防風を栽培し、直売所（サンピコごうつ）で販売 ○海産物を中心とした食のイベントを開催 ○黒ナマコの加工乾燥作業を遊休施設となっている漁協事務所を活用して実施 など	○活力あるまちづくりの推進 ○地域の連帯性を深める活動の推進 ○生涯学習、健康づくりの推進 など	平成24年度 1,900千円 平成25年度 1,020千円 平成26年度 920千円	○黒松港海苔漁場の再生とそれを活用した海苔製品の開発研究を今年度他事業で進める予定	○交通空白地の割合が高いが、取組の内容は生産・加工、連帯感の醸成を図るものを中心。地域交通の確保を図る必要はないか。 ○各産品の栽培指導や、経営計画の策定等を促す必要はないか。	【しま暮ら、定住財団】空き家対策（市と連携した移住への取組） 【農業経営、農畜産、ブランド】浜防風栽培、直売所（サンピコごうつ）販売 【水産】黒ナマコの加工乾燥
3	飯南町	谷	B 潜在力	・谷自治振興会	○交流拠点施設「谷笑楽校」の活用（カフェ開設のための調査、加工品の販売、高齢者への給食サービス、アートギャラリー） ○マイクロ水力発電の調査・設置（用水路への水車等の設置） ○自治会輸送活動 ○冠婚葬祭への取組 ○ホームページ・広報紙による情報発信	○3～4年以内に地区内でコミュニティビジネスを立ち上げ、雇用の場を創出する	平成24年度 2,000千円 平成25年度 4,000千円 平成26年度 3,000千円	○谷自治振興会は、自治会輸送活動や住民による雪かきサービスに取り組んでおり、平成22年度に総務大臣表彰を受賞。視察も多数訪れている。	○視察を多数受け入れている地区ではあるが、飲食や産品の提供・販売体制が未整備であるためにビジネスチャンスを見逃している。 ○マイクロ水力発電については構想段階であり、具体的なものにしていくための支援が必要	【農業経営、農畜産、ブランド】加工品販売 【地域福祉】高齢者給食サービス 【交通対策】自治会輸送 【地域政策】マイクロ水力発電
4	雲南市	塩田	A 緊急性	・塩田地区振興会	○弁当配食サービスを通じた声掛け、見守り活動 ○地区内の窯開きに併せた山菜・野菜の販売等の地区外との交流事業 ○小学校が閉校し、地区内の子どもたちが集まる機会がなくなったため、放課後及び休日に地区内の大人と交流する機会を設ける。 ○塩田地区の広報、マップ作成 ○業務補助を行う協力員（パートタイマー）を配置	○地区住民と同数以上（189人）の地区外住民との交流	平成24年度 1,443千円 平成25年度 1,443千円 平成26年度 1,443千円	○地域おこし協力隊を1名配置（H23.10～） ○平成23年3月に塩田小学校が閉校。校舎の利活用について検討中	○あらゆる拠点施設が不足しており、買い物、子育て等の観点で取り組むべき課題はないか。 ○廃校利活用に関しての検討を促進させ、地域活性化を図る拠点施設として位置付けていく必要がある。	【地域福祉】配食サービス 【社会教育】放課後及び休日の交流 【しま暮ら、中山間C】廃校利活用の検討
5	雲南市	中野	C お手本	・中野の里づくり委員会	○伝統文化を継承するため盆踊り大会、地区民の交流を図るために収穫祭、体育大会等を実施 ○災害時の避難経路、要援護者の支援体制の確立 ○地区の広報誌を発行 ○業務補助を行う協力員（パートタイマー）を配置	○特産品の売上高を年間10万円 ○特産品開発に携わる人 10人→15人 ○産直市の地元利用 40人/日から50人/日 ○産直市の売上高 55千円/日から60千円/日	平成24年度 1,844千円 平成25年度 1,844千円 平成26年度 1,844千円	○平成23年6月より地域住民の手により産直野菜市を運営 ○平成25年3月に中野小学校の閉校が決まっており、その利活用の検討が必要	○廃校利活用に関しての検討の場を設け、地域活性化を図る拠点施設として位置付けていく必要がある。	【しま暮ら、中山間C】廃校利活用の検討
6	雲南市	吉田	A 緊急性	・吉田地区振興協議会	○地域と学校の交流、景観保全を図るため、各種環境美化に取り組む。 ○民谷分校閉校後の利活用を探るため、視察及び話し合いを実施 ○町並みのライトアップを実施し、地域活性を図る。 ○地区の伝統芸能である火焰太鼓を支援し、文化の継承を図る。 ○業務補助を行う協力員（パートタイマー）を配置	○環境美化活動に参加する住民の割合を3割にする。	平成24年度 1,704千円 平成25年度 1,704千円 平成26年度 1,704千円	○吉田地区民谷に地域おこし協力隊を1名配置 ○来春に尾道松江線の三次以北がつながり、交流人口の拡大が特に期待される。	○廃校利活用に関しての検討を促進させ、地域活性化を図る拠点施設として位置付けていく必要がある。 ○新設される道の駅「たたらば壱番地」を活用した情報発信を行う必要はないか。	【しま暮ら、中山間C】廃校利活用の検討
7	雲南市	温泉	A 緊急性	・温泉地区地域自主組織 ダム湖の郷	○地域特有の固有種である「平田カブ」を復活させる。 ○農作業体験等を通じたツーリズム活動を導入し、地域間の交流及び遊休農地の解消を図る。 ○高齢者世帯を主体とした弁当配食サービスを行う。 ○業務補助を行う協力員（パートタイマー）を配置	○農家民泊の参加農家戸数 6戸→7戸 ○地区の特産品を開発 ○配食数量 833戸→900戸 ○道の駅「おろちの里」での売上額 87千円→100千円	平成24年度 2,078千円 平成25年度 2,078千円 平成26年度 2,078千円	○NPO法人さくらおろちが主体となって、さくらおろち湖を活用した取組を展開している。	○地区内に商店がなく、買い物に不便をきたしている実態はないか。	【地域福祉】配食サービス 【しま暮ら】ツーリズム活動 【農畜産】平田カブ

過疎（中山間）地域自立促進特別事業 申請状況等について

☆計画書の提出があった地区

No.	市町村名	地区名	分類	事業主体	事業内容	目標	事業期間及び 事業費	特記事項	意見等	各課の関わり
8	雲南市	波多	A 緊急性	・波多コミュニティ協議会	○子どものふるまい向上を図るため、通学合宿、 夏合宿等の交流を図る。 ○さえずりの森で交流イベントを実施し地域活性 を図る。 ○災害時の避難経路、要援護者の支援体制の強化 ○業務補助を行う協力員（パートタイマー）を配 置	○避難訓練に参加する地区住民の割合 30%→50% ○さえずりの森の新規顧客を開拓し、交流人口を 拡大する。	平成24年度 1,276千円 平成25年度 1,276千円 平成26年度 1,276千円	○平成20～22年度に県のコミュニティ 再生重点プロジェクト事業に取り組ん だ。 ○県営施設「さえずりの森」を有償で 借り受け管理運営 ○満壽の湯の指定管理を雲南市より受 託	○地区内に学校がないため、地域で子 どもを支える取組みを充実強化し、定 住者の確保を図る必要がある。	【社会教育】子どもの交流 【自然環境】さえずりの森
9	海士町	海士	D 自立	・海士町（中央公民館）	○中央公民館内にある図書館の司書を加配し、島 内の各地で図書の貸し出しができるサービスを行 う。 ○各集落の健康相談施設における図書の貸し出し に併せて、保健師が保健指導を行う体制を構築す る。	○宅配図書を通じた地区支援を行い、持続可能な 地区づくりを図る。	平成24年度 3,000千円 平成25年度 3,000千円 平成26年度 3,000千円	○この取組の他にも、買い物支援を通 じた見守り対策などに着手	○教育と福祉の連携による取組であ り、モデル性が高い。 ○地区の抱える課題は様々であり、多 様な手法で現場との関わる糸口を見つ ける姿勢は重要	【健康推進】保健指導 【社会教育】地域での読書
10	津和野町	津和野	A 緊急性	・津和野地区まちづくり委 員会	○街並みの美化・魅力化（街灯へのペナント設置 等） ○秋の芋煮会を通じた新旧住民間の交流 ○鷺原八幡宮の大しめ縄の作成技術の継承 ○鳥獣被害防止のための対策 ○地域防災のための防犯組織の結成、資機材の整 備等	○にぎわい、生きがい、なりわい、助け合いのあ る地域づくりの推進 ○魅力ある地域をつくり、地域住民の参加者数を プラスにする。	平成24年度 3,000千円 平成25年度 3,000千円 平成26年度 3,000千円	○津和野町内において最も人口が集中 している地区だが、高齢化率42.8%で あり人口減少・高齢化が進んでいる。 ○観光地としての賑わいをいかに取り 戻していくかが課題	○まちづくり委員会を平成24年度に立 ち上げており、具体的に取組を推進し ていくためのノウハウを提供していく 必要がある。	【観光振興】街並みの魅力化 【鳥獣対策】鳥獣被害防止対策 【消防防災】地域防災
11	津和野町	畑迫	A 緊急性	・畑迫地域まちづくり委員 会	○景観保全のため、荒廃農地を共同で利用し作物 を栽培する。 ○堀氏庭園等を案内する観光ボランティアの養成 するため、学習会を開催 ○災害時の避難場所である集会所の整備 ○独居老人宅の連絡体制を確立し、安全・安心に 暮らせる地域の実現を図る。 ○SL運行沿線の環境整備、あじさいロードの美化	○将来を担う世代がまちづくりに主体的に関わる ことのできる体制づくり ○にぎわい、生きがい、なりわい、助け合いのあ る地域づくりの推進 ○魅力ある地域をつくり、地域人口をプラスにす る。	平成24年度 3,000千円 平成25年度 3,000千円 平成26年度 3,000千円	○あじさいロードは今年度の「しまね 景観賞奨励賞」を受賞 ○SL運行沿線であり、写真愛好家と 地域住民との交流の動きがある。	○保育所と地域が連携して子育て支援 を行っており、その取組を拡充する視 点はないか。	【地域福祉】独居老人宅の連絡体制 【農業経営】荒廃農地の対策 【観光振興】観光ボランティア養成
12	津和野町	左鍮	A 緊急性	・左鍮地域まちづくり委員 会	○まちづくり座談会、先進地視察を通じ食品加 工、直売所等の調査研究を行う。 ○地域に伝わる平家伝説の継承を行うため、看板 の設置や学習会等を実施 ○用水路を活用した小水力発電設置を検討 ○住民全員参加による一斉清掃を通じ、地域の環 境美化を図る。	○将来を担う世代がまちづくりに主体的に関わる ことのできる体制づくり ○にぎわい、生きがい、なりわい、助け合いのあ る地域づくりの推進 ○魅力ある地域をつくり、地域人口をプラスにす る。	平成24年度 1,800千円 平成25年度 1,800千円 平成26年度 1,800千円	○左鍮公民館が実証！地域力醸成プロ グラムに取り組んでいる（平成25年度 まで）。 ○まちづくり委員会の構成団体である 「左鍮の将来を考える会」の制作した 短編映画が、東京ビデオフェスティバ ル2013において国内優秀作品の10点に 選ばれた。	○公民館を中心とした地域づくりの先 進地であり、住民主体による活動が継 続されている。食品加工、小水力発電 など新たな取組に着手するなど意欲的 な姿勢が評価できる。	【農業経営、農畜産】食品加工、直売 所 【社会教育】平家伝説の学習会 【地域政策】小水力発電
13	津和野町	須川	A 緊急性	・すがわ地域まちづくり委 員会	○田植囃子の担い手が減少しているため、地区外 からの参加者を募集し維持・継承を図る。 ○買い物ツアーの開催、閉店した地域の商店の住 民の手による復活 ○独居老人が多く自主防災が必要であり、訓練・ 啓発活動を実施する。 ○景観美化のためハナミズキの植栽を行う。	○将来を担う世代がまちづくりに主体的に関わる ことのできる体制づくり ○にぎわい、生きがい、なりわい、助け合いのあ る地域づくりの推進 ○魅力ある地域をつくり、地域人口をプラスにす る。	平成24年度 1,500千円 平成25年度 1,500千円 平成26年度 1,500千円	○これまでに3世帯が1ターンし農業 等に従事するとともに、地域行事にも 積極的に参加。外部人材を受け入れる 風土のある地域	○まちづくり委員会を平成24年度に立 ち上げており、具体的に取組を推進し ていくためのノウハウを提供していく 必要がある。	【しま暮ら、中小企業】買い物ツ アー、地域の商店復活 【消防防災】自主防災
14	津和野町	青原	C お手本	・青原地域まちづくり委員 会	○無店舗地域のため、不定期に買い物バスツー アーを実施し、高齢者の外出機会の創出と買い物不便 対策を図る。 ○かつての高津川の美しい河原を取り戻すため、 環境美化活動を行う。 ○独居老人のプライバシーに配慮した安否確認シ ステムの構築を図る。 ○伝統行事の継承のため、文化財の補修及び記録 保存を行う。	○将来を担う世代がまちづくりに主体的に関わる ことのできる体制づくり ○にぎわい、生きがい、なりわい、助け合いのあ る地域づくりの推進 ○魅力ある地域をつくり、地域人口をプラスにす る。	平成24年度 2,400千円 平成25年度 2,400千円 平成26年度 2,400千円	○無店舗地域であり、買い物対策が主 要な課題。また、清流日本一の高津川 と謳われながら、かつての河原の面影 はなく、住民に危機感が生じている。	○益田への買い物バスツアーはイベ ント的にバスを借り上げて実施され るが、住民主体の互助の取組に発展させ ることはできないか。	【しま暮ら、中小企業】買い物ツ アー、地域の商店復活 【自然環境】高津川の美化 【地域福祉】安否確認システム

過疎（中山間）地域自立促進特別事業 申請状況等について

☆計画書の提出を準備している地区

No.	市町村名	地区名	分類	事業主体	事業内容	目標	事業期間及び 事業費	特記事項	進捗状況
15	益田市	種	A 緊急性						25年度より
16	益田市	真砂	A 緊急性						25年度より
17	益田市	二条	B 潜在力						25年度より
18	益田市								
19	益田市								

☆その他、検討の動きがある市町村

- 浜田市 → 市役所の体制を再構築し、事業実施に向けた検討を開始（来年度からの着手？）
- 出雲市 → 来年度事業実施に向け予算要求中
- 知夫村 → 特産品開発を中心に検討

※「緊急性グループ」…「人口データA」「暮らしの条件データB」共に厳しい
「お手本グループ」…「暮らしの条件データB」が厳しく「人口データA」は厳しくない

「潜在力グループ」…「人口データA」が厳しく「暮らしの条件データB」は厳しくない
「自立グループ」…「人口データA」「暮らしの条件データB」共に厳しくない